

領域	2022年度実績(赤字は2023年1～3月での反映分)	2023年度の目標	2023年度の実績	2024年度の目標	2024年度の実績	2025年度の目標
1. 教育						
① 3つのポリシーとコンピテンシーの実質化	教育WSの開催(1回)と次年度カリキュラムの検討 カリキュラム研修WSの実施計画(2023/1/13-15) 試験問題作成WSの開催(1回) 各種FD(歯科医学教育セミナー(7回)、教員オンラインテスト(4回)等)の開催 リサーチマインド養成のためのカリキュラム推進や卒業論文奨励 教育成果に関する第三者評価の実施	1) 教育WSの開催(1回)と次年度カリキュラムの検討 2) カリキュラム研修WSの実施計画 3) 試験問題作成WSの開催(2023/5) 4) 各種FD(歯科医学教育セミナー(7回)、教員オンラインテスト(4回)等)の開催 5) リサーチマインド養成のためのカリキュラム推進や卒業論文奨励 6) 教育成果に関する第三者評価の実施 7) 共用試験公的化に向けた準備	1) 教育WSの開催(9/13)と次年度カリキュラムの検討 2) カリキュラム研修WSの実施(9/30-9/10)に実施 3) 試験問題作成WSの開催(5/27)に実施 4) 各種FD(歯科医学教育セミナー(7回)、教員オンラインテスト(2回)の開催 5) 教育成果に関する第三者評価の実施 6) 教育成果に関する第三者評価の実施 7) 共用試験公的化に向けた各種試験における実施責任者・評価者養成WS受講、模擬患者養成にかかる協力体制の構築、課題実施に向けた環境整備	1) 教育WSの開催(1回)と次年度カリキュラムの検討 2) カリキュラム研修WSの実施計画 3) 試験問題作成WSの開催(8/15) 4) 各種FD(歯科医学教育セミナー(5回)、教員オンラインテスト(10/4・5)の開催 5) リサーチマインド養成のためのカリキュラム推進や卒業論文奨励(3名3編) 6) 教育成果に関する第三者評価の実施 7) 共用試験公的化に向けた各種試験における実施責任者・評価者認定講習会受講、模擬患者養成にかかる協力体制の構築、課題実施に向けた環境整備	1) 教育WSの開催(9/27)と次年度カリキュラムの検討 2) カリキュラム研修WSの実施(11/9-10) 3) 試験問題作成WSの開催(8/15) 4) 各種FD(歯科医学教育セミナー(5回)、教員オンラインテスト(10/4・5)の開催 5) リサーチマインド養成のためのカリキュラム推進や卒業論文奨励(3名3編) 6) 教育成果に関する第三者評価の実施 7) 共用試験公的化に向けた各種試験における実施責任者・評価者認定講習会受講、模擬患者養成にかかる協力体制の構築、課題実施に向けた環境整備	1) 教育WSの開催(1回)と次年度カリキュラムの検討 2) カリキュラム研修WSの実施計画 3) 試験問題作成WSの開催 4) 各種FD(歯科医学教育セミナー、教員オンラインテスト等)の開催 5) リサーチマインド養成のためのカリキュラム推進や卒業論文奨励 6) 教育成果に関する第三者評価の実施 7) 共用試験公的化に向けた各種試験における実施責任者・評価者認定講習会の継続(受講)
② 入試制度の見直し	入試制度について検討を継続	1) 入試制度について検討を継続	1) 入試検討委員会による検討実施(6/28)に実施	1) 入試制度について検討を継続	1) 入試検討委員会による検討の実施(7/1) 学士等特別選抜の受験要件の見直し	1) 入試制度について検討を継続(入試検討委員会の開催)
③ 高大接続教育の充実	糸魚川市との包括的連携に関する協議会の開催(2回)、 糸魚川白嶺高校への授業実施(2023/2/27)	1) 糸魚川市との包括的連携に関する協議会の開催(2回) *5/23 縁が丘学園高等学校 平田専夫校長来訪	1) 糸魚川市との包括的連携に関する協議会の開催(8/1)に実施 糸魚川白嶺高校への出前授業実施(9/21)に計画に実施	1) 糸魚川市との包括的連携に関する協議会の開催(2回)	1) 糸魚川市との包括的連携に関する協議会の開催(8/22) 糸魚川白嶺高校への出前授業実施、協議会開催(9/13) 生涯学習講座「お口の健康教室」実施(2/28)	1) 糸魚川市との包括的連携に関する協議会の開催(2回)
④ 国際コミュニケーション力の育成	英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの実施 各専門教科における英語教育の充実の検討	1) 英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの実施 2) 各専門教科における英語教育の充実の検討	1) 英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの実施 2) 各専門教科における英語教育の充実の検討	1) 英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの実施 2) 各専門教科における英語教育の充実の検討	1) 英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの実施 2) 各専門教科における英語教育の充実の検討 3) 海外研修の機会の充実	1) 英語Ⅰ、Ⅱの実施 2) 各専門教科における英語教育の充実の検討(教育WSによる検討) 3) 海外研修の機会の充実 4) 海外研修の機会の充実
⑤ 歯科界のリーダーとなるためのキャリアパスの構築	卒業生アンケートの実施 キャリア支援教育の充実(3年生生外セミナー)	1) 卒業生アンケートの実施 2) キャリア支援教育の充実(3年生生外セミナー)	1) 卒業生アンケートの実施 2) キャリア支援教育の充実(3年生生外セミナー)	1) 卒業生アンケートの実施 2) キャリア支援教育の充実(3年生生外セミナー)	1) 卒業生アンケートの実施 2) キャリア支援教育の充実(3年生生外セミナー実施(9/25-26))	1) 卒業生アンケートの実施 2) キャリア支援教育の充実(3年生に対するキャリアセミナー)
⑥ 大学院教育の高度化と国際化に基づく研究人育成	学術振興会特別研究員への応募 DC2採択1件 がんプロフェッショナル養成	1) 大学院セミナー等で、学振や申請に関する内容についての研修を実施 2) 次世代のがんプロフェッショナル養成プランに基づく大学院コースワークを策定	1) 11月13日に「日本学術振興会特別研究員に関する大学院セミナー」を実施した。 2) 「がんプロフェッショナル養成プラン 正規課程コース」を策定し、歯科医学教育セミナー(2月28日)、7大学連携キャンパソフンボジウム(3月8日)においても提示した。	1) 昨年度に引き続き、日本学術振興会特別研究員に関する大学院セミナーを行う。 2) 「がんプロフェッショナル養成プラン 正規課程コース」による教育を実施する。	1) プレFDセミナーの実施(2024.9.17) 2) キャリアパスセミナーの実施(2024.9.24) 3) 日本学術振興会特別研究員に関する大学院セミナーの実施(2025.1.21) 4) 「がんプロフェッショナル養成プラン 正規課程コース」による教育の実施	1) プレFDセミナーの実施 2) キャリアパスセミナーの実施 3) 日本学術振興会特別研究員に関する大学院セミナーの実施 4) 海外学会発表支援経費による一部経費の補助 5) 「がんプロフェッショナル養成プラン 正規課程コース」による教育の実施
⑦ 学生の生活支援の充実	医務室の設置 学生相談室の設置 学年代表者との懇談会の開催(2回)	1) 医務室の運用状況を見つめる必要改善を実施 2) 学生相談室の相談員と利用者からのフィードバックを受けて運営上の問題点を抽出し、利用者の利用環境を改善 3) 学年代表者との懇談会において学生から要望のあった事項について、実施できるものから実施すると同時に、継続的に実施し、学生の意見を聴取	1) 医務室・場所を選定し必要な備品を配置した。 2) こころの相談室 学生に迅速に利用者向けに繋がった。 3) 学年代表意見交換会 代表学生からの意見を集約し、対応の可否について検討した。また、全学生に対して学生生活実態調査を実施した。	1) 学年代表意見交換会 対応の可否について、学生にフィードバックをする。	1) 学生の要望を受け、学内施設の実施(電化製品の設置、女子トイレの環境整備等) 2) 水道橋校舎新館の女子トイレ増設を予算化	1) 学年代表意見交換会 対応の可否について、学生にフィードバックを実施 2) 学内施設の実施(女子トイレの増設等)
⑧ 生涯教育	同窓会主催の生涯研修セミナーへの協力 同窓会との共催によるリカレント教育セミナーの実施	1) 同窓会主催のTDCアカデミアへの協力 2) 同窓会との共催によるリカレント教育セミナーの実施	1) 同窓会主催のTDCアカデミア2024への協力 2) 同窓会との共催によるリカレント教育セミナーの実施	1) 同窓会主催のTDCアカデミア2024への協力 2) 同窓会との共催によるリカレント教育セミナーへの協力	1) 同窓会主催のTDCアカデミア2024への協力 2) 同窓会との共催によるリカレント教育セミナーの実施	1) 同窓会主催のTDCアカデミア2025への協力 2) 同窓会との共催によるリカレント教育セミナーへの協力
2. 研究						
① 口腔科学研究センターを中心とした研究の集約化と研究支援体制の充実	2022年度口腔科学研究センターWSの企画(2023/2/22) 2023年度からの顎骨疾患プロジェクトの体制構築	1) 新たにウェルビーイングプロジェクトを発足させ、更に研究体制の充実を図る 東歯学会におけるシンポジウム、口腔科学研究センターWSの企画 2) 学内の研究費に纏ったプロジェクトの育成	1) ウェルビーイングプロジェクトの推進 2) 2023年度口腔科学研究センターワークショップの開催(2024/2/22)	1) 2024年度も引き続きウェルビーイングプロジェクトを推進し、口腔科学研究センターワークショップを開催する。さらに、次のプロジェクトの方向性の検討を開始する。 2) 機器のオペレーターについての体制等の検討を行う。	1) ウェルビーイングプロジェクトを推進 2) 2024年度口腔科学研究センターワークショップを開催(2025/2/25)	1) 2025年度も引き続きウェルビーイングプロジェクトを推進し、口腔科学研究センターワークショップを開催。さらに、次のプロジェクトの方向性の検討 2) 機器のオペレーターについての体制等の検討
② 研究における学内外の連携体制の強化	学内外における共同研究体制構築の支援	1) 大学関連等による共同研究等による共同研究の促進 2) 共有機器の学外との共同利用の可能性について検討する。	1) 学内外における共同研究の支援	1) 2024年度も引き続き学内外における共同研究の支援を行う。	1) 学内外における共同研究の支援を実施	1) 2025年度も引き続き学内外における共同研究の支援を実施
③ 研究成果に基づく知財創出と産学官連携推進のための体制構築	知財創出と産学官連携推進のための体制構築の準備	1) 知財関連の規約の改定 2) 知財関連部署設置(または担当職員配置)のための準備	1) 知財創出と産学官連携推進のための体制構築	1) 知財創出と産学官連携推進のための体制構築に加え、特許等の取扱いについての規程等を整備する。	1) 知財創出と産学官連携推進のための体制構築を継続実施 2) 知財創出と産学官連携推進のための「知財法・東京理科大学発明等取扱規程」を2025年4月1日付で制定	1) 引き続き知財創出と産学官連携推進のための体制構築
3. 国際化						
① 教員と学生の国際交流の推進	タフツ大学、ハイデルベルク大学との姉妹校協定締結 イェナポリ大学との学術協力協定締結 Elective study計画(1年生:台北医学大学、3年生:イェナポリ大学、4年生:ハイデルベルク大学、5年生:タフツ大学) 他大学との姉妹校協定または学術協力協定締結へ向けての準備	1) 姉妹校、学術協力協定校との連携強化 2) Elective study計画 3) 他大学との姉妹校協定または学術協力協定締結へ向けての準備 (候補大学:North Carolina大学Chapel Hill校、University of South Californiaなど)	1) 姉妹校、学術協力協定校との連携強化 2) Elective studyの実施と新たに海外研修を実施 3) 他大学との姉妹校協定または学術協力協定締結へ向けての準備 (候補大学:North Carolina大学Chapel Hill校、University of South Californiaなど)	1) 姉妹校、学術協力協定校との連携強化 2) Elective study、海外研修の実施計画 3) 他大学との姉妹校協定または学術協力協定締結へ向けての準備 (候補大学:North Carolina大学Chapel Hill校、University of South Californiaなど)	1) 延世大学(韓国)学部学生の受け入れ開始(相互研修)、空軍軍医大学(中国)主催学生コンベンションへの学生・引率教員派遣 2) Elective study、海外研修の実施(3月) 3) Elective study:1・2学年台湾、3学年スウェーデン、4学年スイス・ドイツ、5学年アメリカ 海外研修:5学年韓国 ※新たにUniversity of Bern(スイス)へ4学年が渡航 3) 空軍軍医大学(中国)との協定更新等	1) 姉妹校、学術協力協定校との連携強化 2) Elective study、海外研修の実施計画 (香港大学への学生派遣の実施計画等) 3) 他大学との姉妹校協定または学術協力協定締結へ向けての準備 (空軍軍医大学(中国)との協定更新等)
4. 医療						
① 高品質の医療提供	高品質の医療提供を継続 市川総合病院歯科診療棟の設置 市川総合病院の病床数削減による効率的な医療提供体制の再構築	1) 水道橋病院における医療DXの積極的な活用を推進(医療系システムの充実) 2) 市川総合病院診療棟の設置 3) 市川総合病院の病床数削減による効率的な医療提供体制の再構築	1) 水道橋病院における新医療系システムの構築策作成 2) 医療安全及び患者サービスの観点から薬物療法室を設置し、2023年9月から運用を開始した。 3) 地域がん診療連携拠点病院として、がん集学的治療及び緩和ケアの推進を実践する。 3) 2024年2月より従来の570床より511床へ病床を削減し、より効率的な病床運営を行う。 4) 外科領域におけるロボット支援手術を推進する。	1) 水道橋病院における医療DXの積極的な活用を実現(医療系システムの充実) 2) 安心・安全な医療を実現するための職員教育 3) 地域がん診療連携拠点病院として、がん集学的治療及び緩和ケアの推進を実践する。 4) 外科領域におけるロボット支援手術を推進する。	1) 水道橋病院における新医療系システムの運用開始(2025年1月から) 2) 定期的(月1回)な教職員研修会の開催 3) 市川総合病院と市川総合病院との医療安全相互チェックの実施 3) 市川総合病院におけるがん診療の実行を継続 4) 市川総合病院におけるロボット支援手術に關して、手術を行う診療科を増やし手術件数の増加 5) 安心・安全な医療を実現するための教職員研修の継続 6) 医療倫理に対する教職員の意識向上の徹底 7) 施設事故防止のため病院間相互チェックを実施 7) 施設の効率的な運営を推進するために、診療科等別のセグメント別収支の検証を実施	1) 水道橋病院における新医療系システムの活用による、患者サービス、患者管理の徹底 2) 市川総合病院における地域がん診療拠点病院として、医療業の連携をより強固なものとし、安心・安全ながん診療の実行を継続 3) 市川総合病院におけるロボット支援手術に關して、手術を行う診療科を増やし手術件数の増加 4) 安心・安全な医療を実現するための教職員研修の継続 5) 医療倫理に対する教職員の意識向上の徹底 6) 施設事故防止のため病院間相互チェックを実施 7) 施設の効率的な運営を推進するために、診療科等別のセグメント別収支の検証を実施
② 附属医療機関を中核とした病診・病診連携体制の強化	医療連携のための体制の充実や講演会の実施	1) 病診・病診連携の充実(医療連携報告会の対面での開催) 2) 地域医療支援病院としての役割推進(地域のクリニック・病院からの紹介および急患患者の応答率の改善)	1) 水道橋病院における医療連携報告会(対面)の開催 2) 近隣の医療機関からの紹介患者に関しては、患者数の受け入れ制限をせず、積極的に受け入れる。	1) 病診・病診連携の充実(医療連携報告会の対面での開催) 2) 地域医療支援病院として、地域の医療機関から要請のある入院診療が必要とされる全ての患者の受け入れを行う。	1) 水道橋病院における連携医を対象とした医療連携報告会の開催(2025年2月) 2) 水道橋病院において地域連携医との対面でのカンファレンスを実施 3) 市川総合病院における病診・病診連携をより充実させるためにカンファレンスに加え、歯科医師・医師と直接コミュニケーションできる場を設置。意見交換会の実施の継続 3) 市川総合病院における地域医療支援病院として、昨年度は達成できなかった地域の医療機関からの入院要請患者の受け入れ率100%の実現	1) 水道橋病院における病診・病診連携のさらなる強化(医療連携報告会と意見交換会の対面での開催) 2) 水道橋病院において地域連携医との対面でのカンファレンスを実施 3) 市川総合病院における病診・病診連携をより充実させるためにカンファレンスに加え、歯科医師・医師と直接コミュニケーションできる場を設置。意見交換会の実施の継続 3) 市川総合病院における地域医療支援病院として、昨年度は達成できなかった地域の医療機関からの入院要請患者の受け入れ率100%の実現
③ 臨床研究の推進	3施設における臨床研究の倫理承認数:64件 (水道橋:千歳、39件、市川:25件)	1) 臨床研究の推進とともに、不適切な研究が実施されないよう自己チェック体制の整備(市病用のチェックシートの作成を含む)	1) 臨床研究の推進とともに、不適切な研究が実施されないよう倫理研修会の開催	1) 臨床研究の推進とともに、不適切な研究が実施されないよう自己チェック体制の整備	1) 倫理研究に関する講習会の実施	1) 臨床研究の推進をはかるために、講習会を開催し研究のフォローを周知
④ 建学の精神を具現化する歯科界のリーダーとなる医療人育成	臨床研修プログラムの充実 医局員研修プログラムの充実 各学会認定医・専門医・指導医等の資格取得のための支援体制の充実	1) 3施設の特徴を有した臨床研修プログラムおよび医局員研修プログラムの充実 2) 協力型臨床研修施設に対する管理の徹底と質の充実 3) 各学会認定医・専門医・指導医等の資格取得のための支援体制の充実	1) 3施設の特徴を有した臨床研修プログラムおよび医局員研修プログラムの策定 2) 協力型臨床研修施設に対する徹底した管理の実施 3) 各学会認定医・専門医・指導医等の資格取得のための支援体制の充実	1) 3施設の特徴を有した臨床研修プログラムおよび医局員研修プログラムの充実 2) 協力型臨床研修施設に対する管理の徹底と質の充実 3) 各学会認定医・専門医・指導医等の資格取得のための支援体制の充実	1) 3施設の特徴を有した臨床研修プログラムを用い、それぞれの施設の特徴を明確にアピールして臨床研修の募集を実施 2) 協力型臨床研修施設に対する管理の徹底と質の充実 3) 新卒のドクターに対してキャリアパスを示す機会を設ける	1) 学部学生や新卒のドクターに対して、キャリアパスを示す機会を設定 2) 各学会認定医・専門医・指導医等の資格取得のための支援体制の充実 3) 3施設の特徴を有した臨床研修プログラムおよび医局員研修プログラムの充実 4) 協力型臨床研修施設に対する管理の徹底と質の充実
5. 社会貢献						
① 知財創出と産学官連携推進のための体制構築	知財創出と産学官連携推進のための体制強化	1) 知財関連の規約の改定 2) 知財関連部署設立のための準備 3) 企業との共同研究費について産学連携費等の取扱いについて検討する。	1) 知財創出と産学官連携推進のための体制構築	1) 2024年度も引き続き知財創出と産学官連携推進のための体制構築を構築する。	1) 2024年度も引き続き知財創出と産学官連携推進のための体制構築を構築する。 2) 特許等の取扱いについては「学校法 東京理科大学発明等取扱規程」を2025年4月1日付で制定	1) 2025年度も引き続き知財創出と産学官連携推進のための体制構築
② 地域連携	千代田区との連携協定締結	1) 千代田区との連携事業の実施(ちよだ環境まつり、市民公開講座、図書館連携等)	1) 千代田区との間で、ちよだ環境まつり出展、区民公開講座開催、図書館連携、認知症サポート大学認証等、連携の成果が上がった。	1) 引き続き千代田区との連携の深化を図りつつ、連携協定を締結している他大学との更なる連携も模索	1) 千代田区主催の図書館イベントへ参加し連携を強化 2) 地域の祭りへの参加など町内会との交流を強化	1) 千代田区主催の図書館イベントへ参加し連携を強化 2) 町内会との連携体制を維持・強化
③ 公的機関の審議会等における発信力の強化	公的機関の審議会等における委員就任のための支援	1) 公的機関の審議会等における委員就任のための支援 2) 公的機関の審議会の委員や学会の役員などの就任状況の把握	1) 公的機関の審議会等における委員就任のための支援 2) 公的機関の審議会の委員や学会の役員などの就任状況の把握	1) 公的機関の審議会等における委員就任のための支援 2) 公的機関の審議会の委員や学会の役員などの就任状況の把握	1) 公的機関の審議会等における委員就任のための支援 2) 公的機関の審議会の委員や学会の役員などの就任状況の把握	1) 公的機関の審議会等における委員就任のための支援 2) 公的機関の審議会の委員や学会の役員などの就任状況の把握
6. 教学マネジメントとガバナンス						
① 迅速かつ適切な意思決定の仕組み	法人との連携による体制構築と制度運用	1) 法人と大学との連携を強化するための定期的な会議体の設置	1) 法人と大学との部門別打合せを実施し連携を強化	1) 法人と大学との連携を強化するための定期的な会議体の設置	1) 法人と大学と部門別に定期的な情報交換を実施し、情報共有の徹底、連携の強化を図る	1) 法人と大学との連携を強化するための定期的な情報交換の実施
② 効率的かつ柔軟な人材配置	法人との連携による適切な人材配置	1) 法人との連携による適切な人材配置 2) 職員の評価の策定	1) 大学内関係各所の状況を鑑みながらの人材配置 2) 事務職員「目標管理・自己点検評価」のトライアル実施 3) FDの実施 2) SDの実施 3) SDの実施:多数(私大連研等)の参加、SDセミナー開催等)	1) ワークライフバランスに配慮した仕組の検討 1) FDの実施 2) SDの実施 2) SDの実施	1) 大学内関係各所の状況を鑑みながらの人材配置 2) 事務職員「目標管理・自己点検評価」に係る申し合わせを作成 1) FDの実施 2) SDの実施 2) SDの実施:多数(私大連研等)の参加、各種研修会開催等)	1) 教員・職員の適正配置 2) 育休・介護等に配慮した仕組の検討 1) FDの実施 2) SDの実施
③ FDとSDの推進	FD実施回数:9回 SD実施回数:18回(内部研修:16回、外部研修:2回)	1) FDの実施 2) SDの実施	1) FDの実施 2) SDの実施	1) FDの実施 2) SDの実施	1) FDの実施 2) SDの実施	1) FDの実施 2) SDの実施
④ 教職員の評価	学生による授業評価の実施 活動目標設定に基づき上司による教員評価の実施 職員評価トライアル	1) 学生による授業評価の実施 2) 活動目標設定に基づき上司による教員評価の実施 3) 職員評価トライアル	1) 教職員職員の再任・昇任における審査及び評価に関する規程の改正 2) 事務職員「目標管理・自己点検評価」の継続実施	1) 事務職員「目標管理・自己点検評価」の継続実施	1) 教職員活動目標及び評価シートの見直しを実施 2) 事務職員「目標管理・自己点検評価」の継続実施	1) 教職員活動目標及び評価シートの見直し 2) 事務職員「目標管理・自己点検評価」の継続実施
⑤ 教育研究環境の整備	12階講義室における総合講義(グループ学修)の実施	1) 臨床基礎実習室(新館10階)の整備	1) デジタルデンティストリーを見据えた臨床基礎実習室整備計画の構築	1) デジタルデンティストリーを見据えた臨床基礎実習室整備計画の実施	1) デジタルデンティストリーを見据えた臨床基礎実習室整備計画の検討	1) デジタルデンティストリーを見据えた臨床基礎実習室整備計画の実施 2) スキルラボに新規導入のシミュレータ等の新規導入の検討
⑥ ICTの強化と情報Security	情報システム管理委員会によるICTの活用・管理体制の強化	1) 新たな情報システム関連規程の策定など、一層の管理統制と強固な情報セキュリティ体制を構築するための見直し 2) 情報セキュリティインシデント発生時の対応を行う組織としてCSIRT(Computer Security Incident Response Team)の設置を検討 3) 医療機関を標的としたランサムウェアへの対応として、附属施設(病院)と連携した医療情報システム用VPN(Virtual Private Network)装置の脆弱性への対応(最新ソフトウェアへのアップデート)	1) 新たな情報システム関連規程の策定など、一層の管理統制と強固な情報セキュリティ体制を構築するための見直し 2) 動向システムを中心とした基幹業務DX化の推進 3) VR等の動画データ転送を考慮した教育学術無線ネットワークの構築とそれに対応したキャンパスネットワークの最適化の実施 4) 医療機関を標的としたランサムウェアへの対応として、附属施設(病院)と連携した医療情報システム用VPN(Virtual Private Network)装置の脆弱性への対応(最新ソフトウェアへのアップデート)	1) 情報セキュリティインシデント発生時の対応を行う組織としてCSIRT(Computer Security Incident Response Team)の設置を検討 2) 動向システムを中心とした基幹業務DX化の推進 3) VR等の動画データ転送を考慮した教育学術無線ネットワークの拡張とそれに対応した通信機器のリプレイス 4) 附属施設(病院)医療情報システムの各部門データ連携とセキュリティに配慮したシステムリプレイスの実施	1) 本学における、一層の管理統制と強固な情報セキュリティ体制を構築するための見直し(継続中) 2) 動向システムを中心とした基幹業務DX化の推進(継続中) 3) 新卒・旧卒が卒業生における教育学術無線ネットワーク機器のリプレイスを実施 同時に、さいたま市立大学における学術専用線(SINET)を導入し実施。 4) 水道橋病院医療情報システム(電子カルテ)を導入し、院内におけるセキュリティに配慮した医療情報データの一元化管理を実施	1) 情報セキュリティインシデント対応を行う組織(CSIRT(Computer Security Incident Response Team))の設置を見据え、各拠点における連携窓口部門の設置を検討 2) 事務部門の基幹業務DX化の推進 3) 本館における学術無線ネットワーク機器のリプレイス 4) 市川総合病院・千葉市立大学医療センターにおける学術専用線(SINET)の新設およびSINETを利用した拠点間通信(仮設大学LAN)の構築
⑦ 将来計画	法人による中期計画の策定と計画実施および進捗状況評価	1) 法人による中期計画の策定と計画実施および進捗状況評価	1) 法人による中期計画の策定と計画実施および進捗状況評価	1) 法人による中期計画の策定と計画実施および進捗状況評価	1) 2019年度～2024年度までの中期計画は概ね達成したことを確認 2025年度からの7年間の次期中期計画を策定	1) 法人による中期計画の進捗状況評価